

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	安全計画小委員会		主 査 名：土屋 伸一 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)		委員長名：菊地 成朋 主 査 名：西出 和彦
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	活動計画：「超高層建築物の全館避難に対する安全計画」 ・2012 年度：地震，火災，津波等の災害を対象に、階段移動に関する既往研究， 文献を収集し、対象災害の絞込みとその事象における階段移動上の問題点や 課題を整理 ・2013 年度：火災と津波災害を対象に、安全な階段移動のあり方を検討。また、 活動成果をとりまとめ、シンポジウムを開催。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：あり		
	<ul style="list-style-type: none"> ・土屋伸一 (明野設備研究所)：主査 ・水落秀木 (清水建設)：幹事 ・北嶋秀明 (ETRA 環境技術研究所) ・桑名秀明 (鹿島建設 技術研究所) ・林 広明 (大成建設) ・古川容子 (日本建築センター評定部) ・宮崎 淳 (日本設計) ・村井裕樹 (広島工業大学環境学部) ・八木真爾 (佐藤総合計画) ・山本昌和 (鉄道総合技術研究所) ・吉野攝津子 (大林組技術研究所) 		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2013 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有り (ただし近年未更新) 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s6/	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	第 22 回安全計画シンポジウム 超高層建築物の全館避難を再考する 参加者数 47 名 資料名：同上
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 超高層建築物からはエレベータ計画等によるブロックを単位として順次避難 させるほうが、全館一斉避難に比べて時間自体は長くなるものの、階段内での 停滞や階での滞留を抑制でき、円滑な群集流動に有効であることを示した。ま た、海外基準を踏まえ、超高層建築物における避難施設計画で考慮すべき点を 示した。 2. 津波避難ビルは、具体的な検討に至らなかった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 出席率が極めて悪い時が数回あり、作業分担の方法、欠席時の資料提出など、 出席率の向上及び活発な議論のための工夫を考える必要がある。 2. ホームページの更新が滞っており、専任をつける等の工夫が必要である。